

# 調査検討会の概要

## 目的

920MHz帯無線の利用用途を拡大するため音声データ伝送に適したネットワークシステムを構築し、災害情報など情報伝達手段の多様化を図ることを目的とする。

## 実施概要

データ伝送として様々な用途に利用されている920MHz帯無線システムを音声伝送にも適応させたネットワークシステムを実現するために広域エリアでの伝送(マルチホップ伝送)の実現や他の無線局との共用など必要な技術的条件等について、被災地である岩手県大槌町をモデルに調査検討を行う。

## 実施期間

平成26年7月から平成27年3月まで

## 調査検討体制

### 調査検討会 構成員

座長: 村田 嘉利 (公立大学法人 岩手県立大学 教授)

副座長: 本間 尚樹 (国立大学法人 岩手大学 准教授)

構成員: 岩手県、盛岡市、遠野市、釜石市、滝沢市、大槌町、山田町、通信機器メーカー等



# 調査検討会のスケジュール案



## 【調査検討会開催案】

- ・平成26年 7月3日 第1回会合 (調査検討の進め方、スケジュール、センサーシステムの概要、技術的課題)
- ・ // 9月中旬~下旬 第2回会合 (アプリケーションの提示、システム設計、試験方法の提示)
- ・ // 12月上旬~中旬 第3回会合 (実証試験の結果、技術的条件のとりまとめ)
- ・平成27年 3月上旬~中旬 第4回会合 (報告書取りまとめ)

※詳細な技術的検討部分は委員会の下部組織としてワーキンググループ(WG)を設けて検討する。